

まちなかの暑さ対策のポイントと効果。

まちなかの体感温度は高い！

まちなかでは、気温は30℃前後でも、強い日射に加えて熱くなった壁や地面に囲まれることにより、体感温度は40℃近くになることがあります。



1 日差しを遮る

日差しをブロック！

木陰や人工の日よけ

- ◆人に当たる日差しが減る
- ◆地面・壁などが熱くならず、人が感じる熱が減る→日よけだけでも体感温度は5~7℃低下



3 水で冷やす

日差しを遮り、水の気化熱を活用して地面や壁や空気などを冷やすことで、積極的に涼しさをつくりましょう。

地面を冷やしましょう！

日よけ+保水化・打ち水など

- ◆日よけの下で、水をまいて地面を冷やす→日よけ効果に加えて体感温度は1℃ほど低下



空気を冷やしましょう！

日よけ+細かい水のみスト

- ◆日よけの下で、細かい水のみストを使って局所的に空気を冷やす→日よけ効果に加えて体感温度は1℃ほど低下



壁などを冷やしましょう！

日よけ+冷やした壁など

- ◆日よけの下で、細かい水を使って冷やした壁などをつくる→日よけ効果に加えて体感温度は1~2℃ほど低下



40℃

39℃

オーニングの活用で-5℃！

34℃

33℃

32℃

30℃

2 高温化を防ぐ

日差しを遮ることが難しい場所では、日が当たる部分が熱くならない工夫をしましょう。



地面の高温化を防ぐ！

緑化・保水化や打ち水など

- ◆地面が熱くなりにくく、人が感じる熱が減る→体感温度は1~2℃ほど低下



壁などの高温化を防ぐ！

壁面緑化など

- ◆壁などが熱くなりにくく、人が感じる熱が減る→体感温度は1℃ほど低下

複合的に対策を組み合わせましょう！

まちなかが涼しくなった！

日よけ+保水化+冷やした壁+細かい水のみスト

- ◆日差しをブロック
- ◆地面や壁などからの熱を減らす
- ◆空気を冷やす
- ◆壁などを冷やす

40℃だった体感温度が30℃に！